

1. 国際戦略策定に至る経緯

東北大学は、1907年の創立以来、研究第一、門戸開放、実学尊重を基本理念として、日本を代表する研究総合大学としての歩みを重ねてきた。東北大学はその前身校の時代から留学生を積極的に受け入れ、国際的な研究交流を進めてきており、卓越した研究力を背景に国際的にも高い存在感を示してきた。また、政府の一連の国際化・国際連携支援事業に採択され、東北大学独自の国際化の取組を進める基盤を形成してきた。さらに、東北大学グローバルイニシアティブ構想諮問会議（東北大学国際アドバイザーボード：以下、国際アドバイザーボード）を設け、国際戦略形成への努力を重ねてきた。

2016年度には、国際連携推進機構長の下に国際戦略案策定作業部会が組織され、2018年4月に「東北大学の国際連携と教育国際化：今後の国際戦略策定に向けた提言」をまとめ、早期の東北大学国際戦略の明文化の必要性を指摘した。

2018年7月に総長直下の組織として国際戦略室が設立され、上記の蓄積のもとに作成したのが本「東北大学の国際戦略：最先端の創造、大変革への挑戦」（以下、「国際戦略」）である。